

こころの医療センター クリニカルラダー段階別到達目標

レベル	I	II	III	IV	V
レベルの定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	対象者に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、対象者にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
ベナーの「ドレイファス」モデル	精神科経験がなく臨床状況での経験を積むための段階	かろうじて及第点の業務をこなすことができる段階	現在および予測される将来の状況で何が重要かを判断できる段階	状況を長期的な予測も踏まえて全体としてとらえることができる段階	瞬時に状況判断ができ、問題点を明確にできる
看護実践能力	基本的な看護手順に従い、助言を受けて安全に看護を実践できる	標準的な看護計画に基づき自立して安全に看護を実践できる	個別性を重視した看護が実践できる	幅広い視野で予測的判断を持ち、看護を実践できる	より複雑な状況において、対象者にとっての最適な手段を選択し看護を実践できる
組織的役割遂行	看護スタッフの一員であることを理解しスタッフと協働した行動ができる。部署の目標が理解できる。	組織の一員としての役割が理解でき、部署の目標に向け行動できる。	理念に基づいて他部門と協力し、部署の目標に向けリーダー的な役割を遂行することができる	リーダーシップを発揮してチーム内の業務調整が図れ指導、支援ができる	病棟運営や看護部運営、病院運営にもその責任を問われる役割を遂行できる。
自己教育/研究能力	助言を受けながら自己の教育的課題を導き出すことができる	自己の教育的課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる	自己の学習活動に積極的に取り組むと共に、新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる	自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に取り組む後輩のロールモデルとなることができる	精神科領域にかかわる高度な看護について自己の教育活動を展開できる